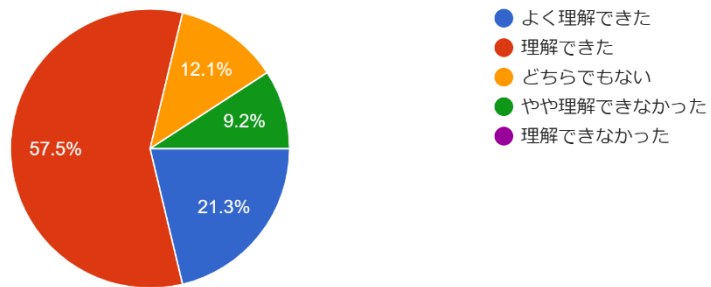


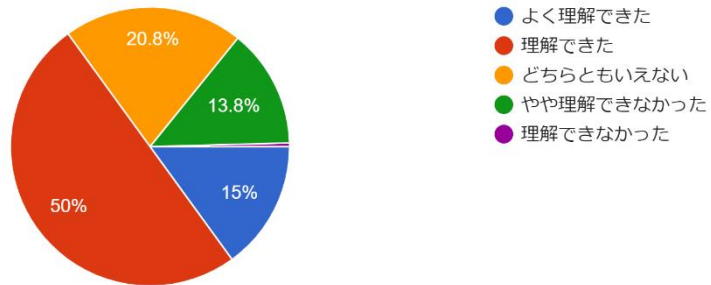
2022 年度生理検査研究班 9 月研究会

「頻脈性不整脈の診断と治療について」アンケート結果

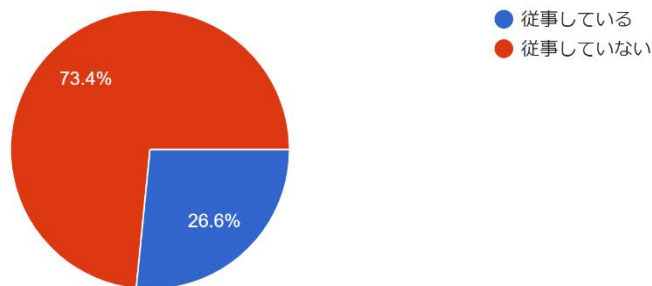
講演①について 講演内容について理解できましたか
240 件の回答



講演②について 講演内容について理解できましたか
240 件の回答



施設で臨床検査技師はカテ室業務に従事していますか？
237 件の回答



今後心電図領域の研究会で取り上げてほしいテーマを記載してください。(抜粋掲載)

- ・ 期外収縮の起源について
- ・ 小児心疾患心電図とエコーとの関連
- ・ 疾患別心電図 心筋梗塞の梗塞部位と心電図
- ・ WPW 症候群の副伝道路の部位診断、および伝導特性の詳細について。特に不顕生、間欠生の症例、頻拍発作時について。
- ・ 若年者のマスター負荷 ECG
- ・ ペースメーカーの心電図の読み方をお願いします
- ・ 頻脈性不整脈やブロックについて基本から波形の解釈の仕方
- ・ V7-V9 の読み方
- ・ 房室ブロックや脚ブロック
- ・ 遺伝性の不整脈について
- ・ ホルター心電図の解析について
- ・ 脚ブロックの患者さんの ST 変化
- ・ 心電図判読トレーニング 問題&解説付き
- ・ 18 誘導心電図について取り上げていただきたいです

本研究会の感想を記載してください。(抜粋掲載)

- ・ 普段入らないカテ室業務について知ることができたと思います。心電図を深くするにはアブレーションや EPS の勉強が必要だと思うので本勉強会はとてもためになりました。
- ・ PSVT の判読のコツを知る事ができ、有意義な勉強会でした。
- ・ 判読が難しい AVNRT と AVRT について、図や解剖を見ながらその発生機序について詳しく理解することが出来ました。
- ・ 生理検査勤務ではないが、大変わかりやすく勉強になりました。
- ・ 生理機能検査に配属されたばかりで、緊急連絡するような発作性上室性頻拍などの心電図の波形のみを覚えて、疾患のことを理解していませんでした。今回の講演で、疾患を理解することで、心電図の波形の変化を理解しました。まだまだ勉強不足で難しい所もありましたが、心電図のおもしろさに気づくことができました。
- ・ 実際の心内心電図の判読を教授ただけてとても興味深かった。バルーンカテーテルの様子や肺静脈を電氣的に乖離する理由および方法ともに図を用いて解説して頂いたためわかりやすかった。
- ・ とても理解しやすいスライドで、心電図上での AFL の回転の向きが納得できました。今回の研究会で学んだことを、仕事をしていく上で活かしていきたいと思います。
- ・ 波形的特徴から頻脈性不整脈の分類を理解することができた。カテ業務については、普段従事していないため難しく感じたが、どのようなことが行われているかを知ることができ、有意なものでした。